

I 著書	執筆タイトル	著者名	共著者／編者	書名	出版年・月	掲載頁	出版社名
		村越毅	村越毅(編集)	多胎妊娠 妊娠・分娩・新生児管理の全て 改訂第2版	2024.04		メジカルビュー社
II 学術論文・総説	論文名	研究者名	共同研究者	掲載誌名	出版年	巻数(号数);掲載頁	
	A case of fetal duodenal atresia suspected to be lower urinary tract obstruction	Konno H	Murakoshi T	J Med Ultrason	2024	51(3); 535-537	
	Perinatal Outcomes of Intrauterine Interventions for Fetal Sacrococcygeal Teratoma Based on Different Surgical Techniques-A Systematic Review	Konno H	Okpaise OO, Sbragia L, Tonni G, Ruano R	J Clin Med	2024	13(9), 2649	
	Real-time fetal monitoring using photoacoustic measurement of placental oxygen saturation in a rabbit hypoxia model	Okawa KS	Hirasawa T, Okawa S, Fujita M, Ishihara M	Placenta	2024	146:110-119	
	Predictive Indicators and Outcomes of Pregnancies Affected by Stage I Twin-Twin Transfusion Syndrome Treated With Fetoscopic Laser Photocoagulation	Wagata M	Wada S, Sago H, Shimabukuro M, Nakata M, Iwagaki S, Takahashi Y, Konno H, Murakoshi T, Ishii K.	Prenat Diagn	2024	44(12):1548-1555.	
	Relationship between maternal mortality and ritodrine hydrochloride as a tocolytic agent in Japan	Nakamura M	Sekizawa A, Hasegawa J, Nakata M, Katsuragi S, Tanaka H, Murakoshi T, Kanayama N, Ishiwata I, Ikeda T, Maternal Death Exploratory Committee in Japan	J Obstet Gynaecol Res	2024	50(7):1111-1117.	
	Infection route associated with invasive group A streptococcal toxic shock syndrome in maternal deaths: Nationwide analysis of maternal mortalities in Japan	Hasagawa J	Sekizawa A, Tanaka H, Katsuragi S, Tanaka K, Nakata M, Hayata E, Murakoshi T, Ishiwata I, Ikeda T	Int J Infect Dis	2024	146:107154	
	分娩における硬膜外鎮痛開始の至適時期	伊賀健太郎	村越毅, 吉井るい, 滝沢真由, 織田愛実, 近藤有紀, 濱田友里, 清水由実, 清水陽彦, 今野寛子, 小林光紗, 森岡将来, 精きぐな, 高木偉博, 小林浩治, 入駒慎吾, 鳥羽好恵, 安達博	関東連合産科婦人科学会誌	2024	61(1):103-110.	
	【周産期の画像診断[第3版]】胎児診断から新生児診断へ 著明な羊水過多	精きぐな	伊賀健太郎, 菊池新	周産期医学	2024	54:606-610.	
	【周産期(産科)の手術の工夫-筆者はこうしている】帝王切開術 早産の帝王切開術	村越毅		周産期医学	2024	54(8):1093-1098	
	【実践!花粉症治療マニュアル2024】特殊なケースへの対応 妊婦・授乳婦への対応	村越毅		耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2024	96(2):174-177	
	【周産期における研修医・新人助産師/看護師教育の必修知識 産科編】妊娠中の管理 多胎妊娠	村越毅		周産期医学	2024	54(2):195-201	
	【産科医療補償制度15年でみてきたもの-脳性麻痺の原因分析と再発防止策】脳性麻痺の原因と再発防止 産科疾患 子宮内感染	村越毅		周産期医学	2024	54(1):83-88	
III 学会発表	演題名	演者	共同演者	開催数 学会名	開催年・月	開催地	
指定講演・シンポジウム等	胎児治療学会20年を振り返る ～先輩からのメッセージより学ぶ～ TTTSに対するレーザー治療導入までの道のり	村越毅		第20回日本胎児治療学会 シンポジウム	2024.01	東京	
	産科の魅力語る ～奥深い産科の魅力から胎児治療に魅せられて The Fetus as A Patient	村越毅		第6回静岡県産婦人科スプリングセミナー 特別講演	2024.04	浜松	
	産科麻酔と病診連携の未来	村越毅		沖縄無痛分娩研究会 特別講演	2024.11	沖縄	
	selective FGRの病態と臨床 ～血行動態と病態を考える～	村越毅		宮崎大学産婦人科リサーチカンファレンス 教育講演	2024.06	宮崎(web)	
	双胎妊娠 管理の基本からUp-to-Date, Pitfallを語る	村越毅		第46回黒糖豊洲産婦人科懇話会 特別講演	2024.10	東京	
	村越毅 周産期の痛みに向き合おう～母と子と医療従事者が痛みを共有する～ 無痛分娩(硬膜外鎮痛)の母親への影響	村越毅		第60回日本周産期新生児医学会 シンポジウム	2024.07	大阪	
	周産期の貧血と闘う ～産後出血と胎児貧血への対応～	村越毅		QOL seminar 貧血を考える 特別講演	2024.02	岐阜	
一般講演・その他の講演	胎児胸腔内嚢胞で発見された非交通性重複	吉井るい	精きぐな, 濱田友里, 清水陽彦, 伊賀健太郎, 安達博, 村越毅	関東連合産婦人科学会	2024.06	東京	
	腹腔鏡下広汎子宮全摘術における視野展開の工夫	小林光紗	脇坂昌平, 織田愛実, 近藤有紀, 濱田友里, 清水由実, 清水陽彦, 高木偉博, 小林浩治, 安達博.	第47回日本産婦人科手術学会	2024.11	岡山	
	当院でのYAGレーザーと電気メスのエンドカットモードによる円錐切除術における手術成績の比較	織田愛実	小林光紗, 高橋健太, 清水陽彦, 清水由実, 高木偉博, 小林浩治, 安達博	第47回日本産婦人科手術学会	2024.11	岡山	
	頭蓋骨骨化の時間差により無頭蓋症様の超音波所見を呈した一例	精きぐな	濱田友里, 清水陽彦, 伊賀健太郎, 村越毅	第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	

	多彩な画像所見を呈した胎児腹水の一例	精さぐな	清水陽彦、伊賀健太郎、森岡将来、濱田友里、村越毅	第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	
	胎児腹部超音波診断のビットフォール(ミニシンボジウム)	今野寛子		第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	
	術中に診断した常位癒着胎盤ニタイシ、子宮反転による胎盤切除法(TURIP法)を試みた2例の検討:TURIP-Testとしての有用性	金尾健	清水陽彦、伊賀健太郎、花城真由、吉井類、稲岡直子、森岡将来、精さぐな、村越毅	第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	
	前置胎盤を伴う妊娠中期胎児死亡症例の待機管理・分娩様式について 皆様の施設ではどうされていますか	森岡将来	花城真由、吉井るい、清水陽彦、清水由実、伊賀健太郎、今野寛子、精さぐな、村越毅	第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	
	尿性復水との鑑別を要し重篤な経過をたどった先天性サイトメガロウィルス感染症の1例	増井好穂	喜多 真梨子、岩崎 一憲、平林 慧、竹原 啓、加茂 亜希、河村 隆一、岩淵 英人、今野 寛子、村越 毅、峰松 俊夫	第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	
	胎児超音波でmulti bubble signを認め小腸閉鎖を疑ったが、消化管閉鎖を伴わなかった5症例の検討	清水由実	今野寛子、濱田友里、清水陽彦、伊賀健太郎、稲岡直子、森岡将来、精さぐな、村越毅	第46回母体体児医学会	2024.08	浜松	
	進行再発子宮頸癌の治療戦略～当院での取	小林光紗		MSD株式会社 WEB講演			
	本邦での悪性腫瘍による妊産婦死亡事例の分娩経緯に関する検討	松敬介	中田雅彦、早田英二郎、村越毅、長谷川潤一、関沢明彦、新垣達也、二井理文、池田智明、田中佳世、田中博明、石渡勇、桂木真司	66回日本産婦人科腫瘍学会	2024.07	鹿児島	
	子宮内バルーンタンポナーデにより顕在化したsilent uterine ruptureの一例	滝沢真由	精さぐな 伊賀健太郎 濱田友里 清水陽彦 清水由実 森岡将来 安達博 村越毅	静岡県産婦人科学会	2024.05	静岡	
	当院における出生前遺伝カウンセリングの現状とアンケート調査結果からみえた今後の課題	柴田亜貴子	爪田久美子、森菜採子、村越毅、内山剛、西尾公男	遺伝カウンセリング学会	2024.08	東京	
Ⅳその他	職務等	氏名	共同者名	会 議 名 等	開催年.月	開催地	URL